学校番号	3010

令和5年度 工業（プロダクトデザイン） 科

教科	工業	科目	プロダクトデザイン製図	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「デザイン製図」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プロダクトデザイン製図は、１年間学んできた製図の知識や技術を組み合わせ、平面作品や立体造形に取り組むものです。これまでの学習により身に付けてきた製図知識と技術を活用し、製図が立体や構造体につながるまでの工程を体験します。素材の特性を理解し、形態に工夫を凝らした作品制作の基礎力と応用力を養います。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

(1)プロダクトデザインの製図に関する基礎的な知識を身に付ける。 (2)デザイン分野に関する課題を見いだすとともに構想を立てる力、表現力を身に付ける。 (3)プロダクトデザインの分野に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び，今後の作品制作活動に活かせる力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野における工業技術の基礎的な知識・技術を身に付け、その技術を理解し、適切に活用する。	プロダクトデザイン分野における工業技術の基礎的な知識と技術を活用し適切に判断する。また自分の考えを目に見える形で表現する。	プロダクトデザイン分野における工業技術・製図に興味を持ち、その技術の向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	透視図法・構造体	・一点透視図法 ・二点透視図法 ・テクスチャーの探求 ・アイデア発想法	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。 安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。 c:主体的に協働して取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品 定期考査	学習状況の観察 作品	取組の姿勢 課題の提出状況
2	紋の制作	・家紋 ・マークについて ・企画・調査 ・作品制作 ・プレゼンテーション ・製本制作	a:制作過程を理解し作業を行うことができるか。また、安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、 課題に取り組むにあたっての思考と判断ができているか。 c:主体的に協働して取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品 定期考査	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション	取組の姿勢 課題の提出状況
3	製本・造形・映像	・製本制作 ・造形班 ヒンメリ制作 ・映像班 映像制作	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。 丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、制作意図を理解して適切な手段を講じて創造的な表現方法を工夫しているか。 c:主体的に協働して取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品 定期考査	学習状況の観察 作品	取組の姿勢 課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度